

五戸総合病院で研修を終えて

2022年12月 十和田市立中央病院 初期研修医 芳賀 悠

2022年12月12日から1月6日まで、外科で研修しました、十和田市立中央病院研修医の芳賀悠です。

研修は午前中に外来診療を行い、午後に手術や病棟診療、処置といった流れが主でした。

これまでの研修期間2年間で外来診療を経験したことはなく、高血圧や糖尿病といった、高齢社会、更に地域医療ではとても重要となる生活習慣病に対する診療にも不安がいっぱいでした。患者さんが異なれば、年齢や生活、ADLも異なっており、その背景を見ながらコントロールが必要となる。そのような医療の奥深さを経験することが出来ました。

また、病棟診療に関しては本当に様々な病態の患者さんにお会いしました。胆嚢炎などの手術患者さんから癌に対する化学療法を行なっている患者さん、更に肺炎患者さん、褥瘡のコントロールが不良となってしまった患者さんと自分が外科で研修していたときには経験したことのない病態の患者さんが大勢おり、それに加え施設への入所の待ちの患者さんなど地域包括の患者さんまで入院していました。

「病態は安定していても様々な背景により自宅や施設に帰ることが出来ない方がいる、そのような方々の今後の生活まで診る」といった地域医療を経験することが出来ました。

手術に関しては、私が麻酔科志望であることを考慮していただき、実際に麻酔管理も経験させていただきました。

「この手術の麻酔科医は自分である」という責任感を直に感じる事が出来たとともに、今までの研修の成果を試す最高の経験をする事が出来ました。

年末年始の期間の研修だったため、3週間弱の短期間の研修となってしまいましたが、とても有意義な研修が出来ました。院長の安藤先生、後村先生を始め、多くのスタッフの方々に感謝しております。

ここでの経験を活かしながら、今後は私自身が考える医療を、少しでも多くの患者さんに提供できるよう精進します。誠にありがとうございました。